

取扱説明書

駐車録画用ケーブル

品番 CA-L700D

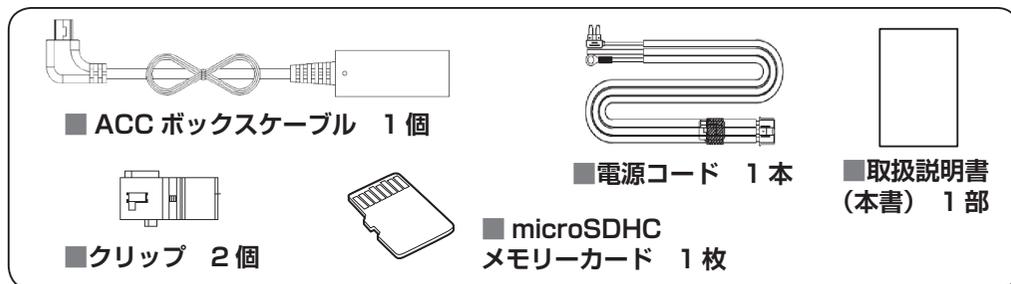
本製品はドライブレコーダー CA-XDR72GD, CA-XDR71GD 専用です。
ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。



- ※ 寸法は、おおよその数値です。
- ※ イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- ※ 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

仕様

ケーブル長	約 2.65 m (ACC ボックスケーブル 約 2.2 m + 電源コード 約 0.45 m)
電源電圧 (入力)	DC 12 V, 0.8 A(Max)
電源電圧 (出力)	DC 5 V, 1 A(Max)
カットオフ電圧	11.7 V ± 0.2 V
オフタイマー設定時間	15 分
動作環境	0 °C ~ 50 °C
外形寸法 (コンバーターケース)	74 mm × 30 mm × 17 mm (突起部除く)
質量	約 148 g

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の記載の寸法・質量はおおよその数値です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



警告



分解禁止

分解や改造をしない

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告



取り付けや配線は安全のため専門の技術者に依頼する

火災や故障の原因となります。
安全のため必ず、お買い上げの販売店（専門業者）へご依頼ください。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

取扱説明書に従って取り付け、配線をする

火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、配線などに干渉・接触をしないようにしてください。また加工部のサビ止め、浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

^{*} ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど

車体やシートなどの可動部にコードが挟まれないようにする

火災や故障、感電の原因となります。

必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

コードの被覆のない部分は絶縁テープで覆う

火災、故障、感電の原因となります。



本機は DC12V[⊖] アース車以外で使用しない

火災や故障の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしていない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしていない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

車両メーカー・車をお買い上げの販売店に作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けに車の保安部品^{*}を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

^{*} ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

注意



板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障のおそれがあります。

必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災のおそれがあります。



コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

ご利用になるとき

警告



必ず規定容量のヒューズを使用する、また交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。



故障や異常な状態のまま使用しない

水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。
事故や火災、感電の原因となります。

機器内部に水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

注意



本機を車載用以外には使用しない

発煙や発火、感電、けがのおそれがあります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

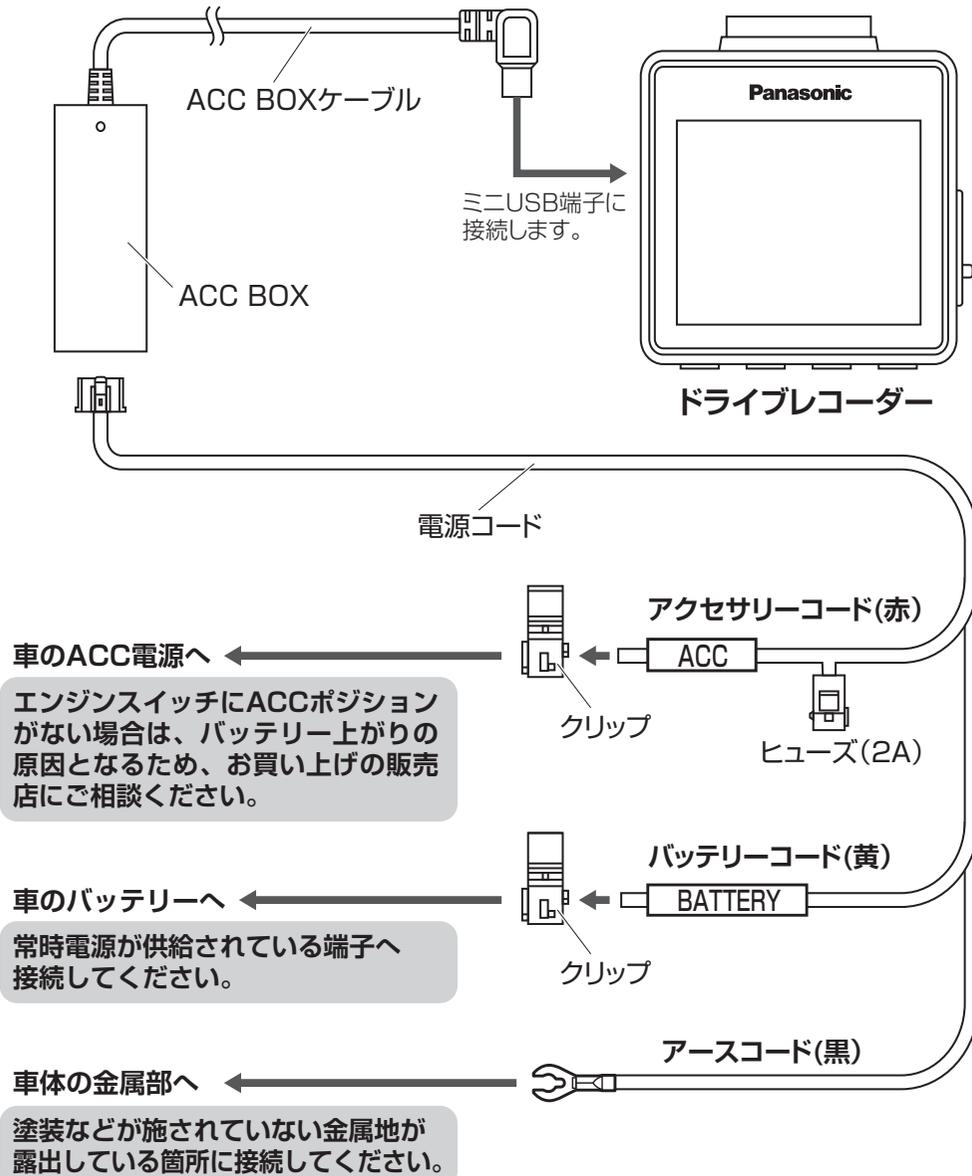
発煙や発火、感電、けがのおそれがあります。

配線のしかた



注意

配線の前に、必ずエンジンキーが抜かれていることを確認してください。またショート等による事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



※図の通りに配線されていない場合、動き検出の機能が正しく作動しません。

駐車録画モードについて

動作

- ACC スイッチオフ後は、駐車録画モードが起動します。まず 30 秒間録画して、その後、駐車録画待機モードに入ります。
- 駐車録画待機モードの状態、ドライブレコーダー画面上のイメージで変化を感知したら、録画が始まります。1 ファイルは 30 秒の映像があり、一般録画のフォルダに保存します。
- 駐車録画モードに入ると、衝突検出感度の設定値は、自動的に高感度に設定されます。駐車録画モードを解除すると、衝突検出感度は元の設定値に戻ります。
- 録画中に衝突検出感度の設定値を超えると、緊急録画のフォルダに映像を保存します。

低電圧検知

- 本製品は低電圧検知の機能があり、バッテリー上がりを防ぐことができます。バッテリーの電圧が 11.7 V より低下した場合、内部のタイマーが作動して、15 分後に電源出力を停止します。その後は録画ができなくなります。低電圧で電源出力が停止した場合、もしバッテリーの電圧が 12.2 V に戻れば、再び駐車録画モードに入ることが可能になります。

注意事項

- 本製品はドライブレコーダー CA-XDR72GD, CA-XDR71GD と接続して使用することができます。弊社のそれ以外のドライブレコーダーと接続して使用することはできません。
- 本製品の接続方法をご確認の上、正しく取り付けてください。
- 2 日以上駐車する場合、駐車録画モードを使用しないでください。
- 駐車録画モードに入ると、駐車場所の明るさにより、ドライブレコーダーのイメージセンサーを自動的に調整します。(調整時間は約 30 分かかります。)
- ドライブレコーダー画面上のイメージの変化が多い場所(例えば、道路に向かって駐車している)など、明るさの変化により、イメージセンサーが作動し続け、録画する場合がありますが故障ではありません。
- 暗い場所に駐車すると、動き検出機能は、物体の大小、距離などの要因で正常に作動しない可能性があります。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使いかた

ドライブレコーダー本体のファームウェアの更新

同梱している microSDHC メモリーカードで、ドライブレコーダー本体のファームウェアを更新する

- ファームウェアを更新しないと、動き検出の機能が正しく作動しない場合があります。ご注意ください。

1 microSDHC メモリーカードをドライブレコーダー本体に入れる。

2 [メニュー] → [Update Firmware] → [確認] → [はい] を選択する

- ファームウェアの更新が完了したら、ドライブレコーダーが再起動します。

[CA-XDR72GD の画面]



[CA-XDR71GD の画面]



[動き検出] の設定 初期設定: [オン]

きちんと配線されているか確認してください。

1 ドライブレコーダーの電源を入れる

- メニュー画面に [動き検出] という項目が追加されます。表示する項目の位置は機種により異なります。

2 [動き検出] を選択して、OK ボタンを押す

- メニューを終了するには、**←** ボタンを押します。

3 [オン] を選択して、OK ボタンを押す

- 駐車録画モードの設定が完了します。

4 エンジンを切り、ACC スイッチをオフにする

- 「OK を押したら電源を切る、或いは、10 秒後、駐車録画モードに入る。」と画面に表示されます。そのまま何もしないと 10 秒後に駐車録画モードになります。[OK] を押すと、ドライブレコーダーの電源が切れます。

お知らせ

- 駐車録画モードがオンのときは、エンジンを切り、ACC スイッチをオフにするつど、上記の案内が表示されます。



[表示例]



OK を押したら電源を切る。或いは、10 秒後駐車モードに入る。